

2013年3月18日

福島へ！23日、南相馬の中学生12名がオーストラリアへ旅立ち —「福島子どもプロジェクト2013・春」が始まります。—

NGOピースボートでは、福島の未来を担う子ども達に、思いっきり外で遊び、異文化を体験し、海外に友達を作ってもらうため、この春休みを利用し、「福島子どもプロジェクト2013・春」を実施します。参加する子ども達12名は、3月23日に福島を出発し空路オーストラリアへ飛び立ちます。

震災と原発事故から2年が経ちましたが、福島に暮らす子ども達はまだまだ十分に屋外で遊べないといった条件付きの生活を余儀なくされています。「福島子どもプロジェクト」は、学校の長期休暇期間を利用した保養プログラムで、2011年夏休みには南相馬市の中学生49名をアジア3ヶ国を巡るクルーズに招待、2012年夏休みには福島市と郡山市の高校生7名が南米ベネズエラの青少年オーケストラと交流しました。

今年のプログラムは、オーストラリア・メルボルンでの実施。ホームステイや語学学習、環境教育を通して次世代のリーダーを育てたいと、南相馬市内5つの学校から選抜された中学生が参加することに決まりました。すでに数回に渡る出発前オリエンテーションを行い、9日間のプログラムに向けた準備が進んでいます。

以下、プロジェクトの概要をお送りします。先の見えない生活を続ける福島県内の方々、避難生活を続ける方々にも子どもたちの成長という前向きな話題を提供し続けることが必要だと思っています。ぜひ、取材などご検討ください。

■ ピースボート福島子どもプロジェクト2013・春 概要

- 【 実施期間 】 2013年3月23日(土)～4月1日(日)
(出発) 午前 南相馬市内よりバスにて成田空港へ。空路オーストラリアへ(到着、3/24)
(帰国) 3/31 オーストラリア出発。4/1 成田空港からバスにて南相馬市内へ
- 【 実施場所 】 オーストラリア・メルボルン市
- 【 参加メンバー 】 福島県南相馬市内の中学生12名(男子4名、女子8名)+通訳兼コーディネーター1名
- 【 現地プログラム 】
- ・持続可能な開発に関する授業を行う高校の訪問
 - ・風力発電施設を訪問、市役所の方々との交流
 - ・パーマカルチャーガーデンの見学
 - ・郊外の農場を訪問、野外での活動や動物とのふれあい
 - ・コアラやペンギンが生息する島への訪問
 - ・2人1組で地元の家庭にホームステイ
 - ・日本語を学ぶ小中学生らとの交流、ビーチのライフセーバーとの交流
 - ・メルボルン市内観光、マーケット散策 など
- 【 共催 】 国際交流 NGO ピースボート／一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター
- 【 協力団体 】 (日本)南相馬こどものつばさ (豪州)ジャパニーズ・フォー・ピース／オーストラリア自然保護財団／「地球の友」オーストラリア／戦争防止医療協会
- 【 呼びかけ人 】 加藤登紀子(歌手)／鎌田實(医師)／香山リカ(精神科医)／田中優(環境活動家)／田部井淳子(登山家)

※旅の様子は「ふくしま支援ブログ」で。 → http://pbv.or.jp/blog_fukushima/

● このリリースに関するお問い合わせは

ピースボート福島子どもプロジェクト 担当:市塚、合田 (事務局:東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1)

TEL: 03-3363-7561 MAIL: info@peaceboat.gr.jp